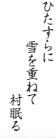
いいたて みかげ石 ものがたり

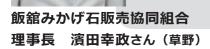
インタビュー/みかげ石 ものがたり

村役場の庁舎や敷石にみかげ石を使うなど、当時、石材業で村おこしをする機運が高まっていました。地元の石を生かしたいと、協同組合も奮闘。村境に石碑を建てる時にも、組合の各社が分担し、公募したデザインなどを採用しながら、思いを込めて石碑をつくりました。

村の地盤は岩盤で強い。畑などからみかげ石が出ることも珍しくありませんでした。ここで産出する白みかげは、強度があり、含まれる鉱石にも調和があり、艶が出て非常に品質がよい。原石での出荷が多く、県外にも取引先を増やし、墓石や建材として各地で利用されました。一方、職人を招いて技術を学び、村内でも石材加工が盛んになっていきました。

現在は安価な輸入石材が国内流通のほとんどを占めていますが、国 産の石のよさも大切にしたい。石に彫れば、末代まで残ります。村内にあ るさまざまな石の作品も、村の歴史を語り継ぐものになっていくでしょう。





濱田石材工業社長。村内の 業者を組織化し石材業を 地場産業とすべく尽力。同 社は現在も村内での採石を 行っています。 全国から募った句をみかげ石に刻んだ「あいの句碑」が並ぶ「村民の森あいの沢」に、濱田さんが寄贈した句碑。全村避難中に黛まどかさんが詠んだ句を刻みました。



存在感を放つみがけ石。時代 石材業界全体が縮小しているところですが、飯舘村のみかげ石の魅力は、多産でないからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増しているからこその価値が増している方を使って、さまざまに行われていた事業や試み。まさに行われていた事業や試み。まさに行われているようです。
村境の石碑が気になっているの方では、ようこそ!」とデザが晴れたでしょうか。「愛すが晴れたでしょうか。「愛すが晴れたでしょうか。「愛すインに思いを込めたみかげ石の石碑は、今も、村を訪れるの石碑は、今も、村を訪れるの石碑は、今も、村を訪れるの石碑は、今も、村を訪れるの方ですが、多少は疑問がよりない中ですが、多少は疑問がない中ですが、多少は疑問がよりない中ですが、多少は疑問がない中ですが、多少は疑問がないがある。



全国から「座右の銘」を募り、みかげ石に刻むプロジェクトが進行中。 その石碑は「いいたて村の道の駅までい館」の遊歩道に設置されています。人生で大切にしている言葉を伝え合う「言葉の散歩道」です。

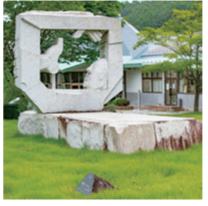


みかげ石を生かして

特産のみかげ石を活用した 見どころスポットを紹介し ます。

平成5年度に完成した役場庁舎は「自然と溶けあうやさしい役場」がコンセプト。みかげ石のよさを生かしたデザインが目をひきます。





役場の前庭にも多くの石彫。平成5年に村内で「あぶくまストーンコンベンション'93」が開かれ「みかげ石を利用した彫刻のある村づくり」が進められました。

村の中にあるさまざまな施設に、みかげ石は生かされています。建物はもちろん、道路の縁石や、案内板の台座、看板、石碑などに利用され、村の風景を彩っています。この夏にオープンした「ふかや風の子広場」にも、名称を刻んだ大きなみかげ石が設置されました。そして、どのスポットのみかげ石も、石なんだけど、どこか温かみが感じられます…そこに誰かのアイデアや、伝えようとした思いが込められているからでしょうか。

橋の欄干の柱にもこだわりのデザイン。大師堂橋には地名の「大師堂」にちなみ伝統建築の装飾「擬宝珠(ぎぼし)」、飯樋川の新橋には祭りの太鼓がデザインされています。





「いいたて希望の里学園」の 花壇の縁石にもさりげなくみ かげ石が使われています。

